

別科

- 三 臨時教員養成所
- 四 實業學校教員養成所
- 五 實業學校ニ於ケル修業年限三年ノ高等科
- 六 專門學校令第五條ノ資格ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年以上ノ學校又ハ前號ノ實業學校ニ準ズベキ學校ニシテ私立學校令ニ依リ設立セラレタルモノ
- 第三條 左ニ掲グル學校ノ修業年限ハ昭和十八年度ニ於テハ其ノ年度ニ卒業スベキ者ニ付三月之ヲ短縮ス
- 一 國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年以上ノ實業學校、國民學校高等科一年修了程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限四年以上ノ實業學校及國民學校高等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年以上(夜間授業ヲ爲スモノハ修業年限四年以上)ノ實業學校
- 二 前號ノ實業學校ニ準ズベキ學校ニシテ私立學校令ニ依リ設立セラレタルモノ
- 第四條 本令ニ依リ短縮セラレタル修業年限ハ師範學校中學校高等女學校教員檢定規程第七條第二號、私立醫學專門學校指定規則第二條第二號、大正七年文部省令第三號第一條第四號及昭和二年文部省令第二十四號第二條ノ適用ニ付テハ短縮セラレザルモノト看做ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十六年十月十六日勅令第九百二十四號ハ大學學部等ノ在學年限又ハ修業年限ノ臨時短縮ニ關ス

ル件、大正七年十一月二日文部省令第三號ハ高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件及昭和二年十一月同第二十四號ハ計理士法第三條ニ依リ學校認定ニ關スル件ナリ

陸軍勤勞顯功章令施行規則の公布

勤勞顯功章令については本誌第三卷第九號所載の如くであるが、之に基く陸軍勤勞顯功章令施行規則は昭和十七年十一月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

陸軍勤勞顯功章令施行規則

(昭和十七年十一月二十四日 陸軍省令第六十一號)

第一條 勤勞顯功章令第一條第一項ノ規定ニ依リ勤勞附圖

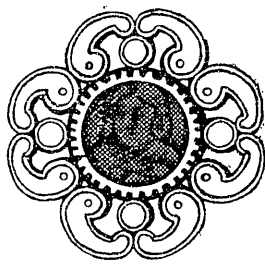
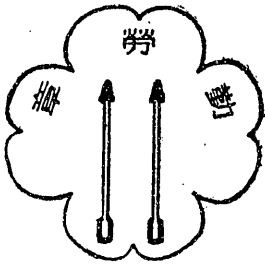


表 面



裏 面

側	裏	面		大	地	制
		玉	神像ノ部			
面	面	部	部	サ	質	式
銀	銀	曲丸	浮	上	銀	
色	色	玉玉	彫	圖	色	通
磨	梨	銅銀	彫	ノ	金	
仕	地	色色	銀	返	屬	納
上	仕	磨磨	色	シ	シ	
	上	仕仕	上	ム		

失ノ勤勞顯功章ヲ發見シタルトキハ速ニ陸軍大臣ニ其ノ一ヲ返納スベシ

第五條 勤勞顯功章ハ本人ニ限り終身之ヲ佩用シ遺族之ヲ保存スルコトヲ得

第六條 勤勞顯功章ヲ授與シタルトキ又ハ第三條ノ規定ニ依リ之ヲ返納セシメタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ公示ス

第七條 勤勞顯功章ハ式典其ノ他ノ廉アル場合ニ之ヲ佩用スルモノトス

第八條 地方表彰ハ陸軍軍需動員部隊又ハ陸軍大臣ノ指定スル部隊(以下單ニ部隊ト稱ス)所屬ノ雇員、傭人及工員ニシテ其ノ職務ニ精勵シ勤勞報國ノ實ヲ擧ゲタルモノニ部隊長勤勞章ヲ授與シテ之ヲ爲スモノトス

第九條 勤勞章ノ形狀及制式ハ附圖ノ如シ

第十條 勤勞章ハ之ヲ右肋ニ佩ブルモノトス

第十一條 第二條乃至第五條及第七條ノ規定ハ勤勞章ニ之ヲ準用ス但シ第四條中陸軍大臣トアルハ部隊長トス

第十二條 勤勞顯功章及勤勞章ヲ授與スル場合ニハ表彰狀及副賞トシテ賞金ヲ付與ス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

俘虜派遣規則の公布

戰時下勞働力の逼迫に際し俘虜勞働力の生産的利用は人口問題上も注目せらるゝ所多いが、昭和十七年十月二十一日付官報を以て公布せられたる俘虜派遣規則並に同日付官報所載の派遣俘虜取扱規則を掲ぐれば左の

如くである。

俘虜派遣規則 (昭和十七年十月二十一日 陸軍省令第五十八號)

第一條 本令ニ於テ俘虜ノ派遣ト稱スルハ俘虜ヲ勞務ニ服セシムル爲メ俘虜收容所外ニ派遣居住セシムルヲ謂ヒ派遣俘虜ト稱スルハ派遣セラレタル俘虜ヲ謂フ

第二條 工場、事業場等ニ於テ俘虜ノ派遣ヲ受ケントスルトキハ第六條乃至第十一條ノ規定ノ實施ニ關スル計畫書ヲ定メ之ヲ別紙様式ノ願書ニ添附シ當該俘虜收容所ヲ管理スル軍司令官又ハ衛戍司令官(以下單ニ俘虜收容所管理長官ト稱ス)ニ提出シ其ノ許可ヲ受ケベシ計畫書ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第三條 公共團體又ハ法人ノ願出ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ之ヲ提出スベシ

第四條 俘虜ノ派遣ヲ許可セラレタル者(以下單ニ派遣俘虜使用者ト稱ス)ハ本令及第二條ノ規定ニ依リ

俘虜收容所管理長官ノ許可シタル計畫ノ實施ニ關シ

俘虜ヲ差出シタル俘虜收容所長(以下單ニ俘虜收容所長ト稱ス)ノ指示ヲ受クベシ

第五條 派遣俘虜使用者ハ本令及第二條ノ規定ニ依リ

俘虜收容所管理長官ノ許可シタル計畫ノ實施ニ關スル諸規程ヲ定メ俘虜收容所長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第六條 派遣俘虜使用者ハ派遣俘虜ノ居住、取締ニ要スル設備ヲ整備維持スベシ

前項ノ設備ハ概ネ俘虜收容所ニ準ズルモノトス

第七條 派遣俘虜使用者ハ派遣俘虜ノ取締ノ爲メ必要ナル設備ヲ整備維持スベシ

第八條 派遣俘虜使用者ハ派遣俘虜ノ勞務指導ニ任ズベシ

第九條 派遣俘虜ノ糧食、寢具、燬室用薪炭、日用品、旅費(俘虜ノ派遣及復歸ニ要スル旅費ヲ含ム)其ノ他ノ給與ハ派遣俘虜使用者之ヲ擔當シ概ネ俘虜收容所ニ準ジタル給與ヲ爲スベシ但シ將校タル派遣俘虜及敵國軍衛生人員ノ俸給並ニ俘虜著裝被服使用ニ堪ヘザルニ至リタルトキ之ニ貸與スベキ被服ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ外派遣俘虜使用者ハ派遣俘虜ノ勞務ニ要スル被服ヲ整備スベシ

第十條 派遣俘虜使用者ハ俘虜給與規則第十三條ニ定ムル金額(二十五錢以内ノ増給額ヲ含ム)ヲ基準トスル賃金ヲ俘虜收容所長ニ納付スベシ

第十一條 派遣俘虜ノ醫療ニ關シテハ派遣俘虜使用者之ヲ擔當スベシ但シ入院ヲ要スル派遣俘虜ノ治療ニ關シテハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依ル

第十二條 派遣俘虜死亡シタルトキハ死亡ノ日ニ遡リテ俘虜收容所ニ復歸ノ手續ヲ爲スモノトス

第十三條 派遣俘虜使用者ハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依リ日誌ヲ備ヘ派遣俘虜ニ關シ必要ナル事項ヲ記入スベシ

第十四條 派遣俘虜使用者ハ俘虜收容所長ノ定ムル所ニ依リ毎月十日、二十日及月末ニ於テ派遣俘虜ノ狀況(勞務ノ成績、衛生狀態其ノ他主要ナル事項)ヲ俘虜收容所長ニ報告スベシ